

足利の織姫公園と足利織姫神社

自然夜景遺産に認定

足利市内の観光スポットで知られる織姫公園と足利織姫神社（同市巴町、西宮町、本城）が、新たに「第10回日本夜景遺産」（一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー主催）の「自然夜景遺産」に認定された。認定日は7月18日付。

（川岸等）



足利織姫神社から望む足利の夜景（足利市役所提供）

市「滞留型観光推進につなげたい」

同夜景遺産は観光資源としての夜景の価値を確立する狙いで、認定区分は自然夜景遺産のほか歴史文化夜景遺産、ライトアップ夜景遺産、施設型夜景遺産。総認定数は全国で190カ所になった。

県内では既に、自然夜景遺産で太平山（栃木市）、ライトアップ夜景遺産で奥日光湯元温泉雪まつり（日光市）、あしかがフラワーパーク、同フラワーパーク藤のライトアップ（足利市）がそれぞれ認定されている。

織姫公園と足利織姫神社は市街地の織姫山（標高118m）にあり、関東平野が一望できる上、同神社神殿がライトアップされるなど夜景を楽しめることが評価された。

足利織姫神社は今年1日付で、「恋人の聖地」（NPO法人地域活性化支援センター）にも認定されており、市観光振興課は「滞留型観光の推進につなげたい」としている。